

南アルプス市立白根巨摩中学校 学校関係者評価書（後期）

白根巨摩中学校 学校関係者評価委員会	令和4年1月24日作成
第2回学校関係者評価委員会	
実施日	令和4年1月21日（金） 午後5時00分～
会場	白根巨摩中学校 図書室
参加者	学校関係者評価委員 5名 久保田 直美 里吉 武仁 長澤 光 松本 俊昭 柳本 伸
	学校関係者 4名 浅利 司（校長） 中込 幸人（教務主任） 浅利 進（教頭） 石川 孝之（生徒指導主事）
1	学校側から提案された内容 （1）生徒アンケート結果について （2）保護者アンケート結果について （3）2学期の自己評価結果について （4）生徒の生活について
2	評価されたおもな内容 領域別・評価項目別の自己評価考察および意見交換
学校関係者評価	
1	全体評価と学校運営 ・今年度後期の教職員によるアンケート結果は平均4.6で、前期と同じ数値となっているが、全体的にはやや高い数値となり、結果の指標として設定した平均4.5をおおむね上回ることができた。生徒アンケート、保護者アンケートの得点についてもほとんどの項目において、指標とする平均4.0を上回っている。これらの結果から、学校運営は良好に行われていると考えられるが、領域ごとに分析検討し、今後も生徒が安心して教育活動を行い、その資質を向上するよう努力していきたい。 ・今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の取組を行う中で、変更・制限しながらも教育活動が行われた。特に2学期は行事が集中し、教職員と生徒が一体となった取組が行われている。アンケートからも生徒の意欲的な活動がうかがえる。コロナ禍で様々な活動に影響が出ると思うが、健康安全に留意しできるだけ実施してほしい。 ・生徒や保護者のアンケートからも、本校の教育活動に対して肯定的に捉え、意欲的に活動している様子がうかがえる。地域・保護者とのコミュニケーションを絶やさず、連携を深めることで、今後も地域全体で子供を育てる意識を高めてほしい。 ・小中一貫教育を通じ、子どもたちが確かな学力をつけ、豊かな人間関係を築き、将来飛躍するための基礎作りをお願いしたい。

2 自己評価書に見る課題と対応について

○ 教科指導

- ・生徒、保護者アンケートから、ともに授業に対する先生方の創意工夫がうかがえる。先生方の研究は必ず生徒の学力向上につながると考えられる。日々多忙だと思うが、今後もこの努力を続けてほしい。
- ・週末課題のタイ・アップチャレンジも定着しつつあり、この取組を継続してほしい。また、家庭学習は小中一貫教育の取組にも生かし、9年間の取組につなげてほしい。
- ・生徒、保護者のアンケートからも、基礎学力定着についての不安は課題である。中学校では個別指導の時間を取るのには難しいが、基礎学力を定着させるためには、家庭学習も含めて個別の学習方法について生徒とも確認する上で計画していく必要があるのではないかな。
- ・PCの活用に課題が多いと考えられるが、リモート授業の需要も含め今後の重要度が高くなることから、成功している他校の事例等参考にしながら問題解決に取り組んでほしい。

○ 生徒指導

- ・生徒とのコミュニケーションの醸成には、積極的な声掛けが欠かせない。アンケート結果からも生徒指導が行き届いているものと考えられる。生徒一人ひとりの心を育み、将来社会に出たときの礎となることを願っている。
- ・保護者アンケートから、学校への信頼と期待が高く寄せられていることが分かる。「学校が楽しい」といえる生徒を一人でも増やしていけるような、生徒に寄り添う指導を今後も続けてほしい。
- ・児童虐待、ヤングケアラーなど、家庭環境への問題について、直接教職員が介入するのは難しい。スクールカウンセラーやスクールサポーター、スクールソーシャルワーカー等多くの関係機関と連携し、当該生徒や保護者への対応をしていってほしい。直接生徒を取り巻く環境についても留意しながら、生徒の自己肯定感が育つように支援してほしい。

○ 特別活動

- ・生徒のアンケートは特別活動の項目の得点が高く、生徒が楽しんで取り組んでいる様子がうかがえ、この活動が学校生活全体に良い影響を与えていると感じる。
- ・学校行事を通して目標達成のため周囲と協力しながら努力した経験は、生徒にとってかけがえない思い出になる。コロナ禍で学校行事の実施も難しくなっているが、白根巨摩中学校の伝統である合唱活動を含めて、安全に配慮しながら生徒のために計画・実施をしていってほしい。
- ・今年度は2学期に多くの行事を集中して行ったため、教職員の意識も高まり、各自の分掌に対する責任感も高まっている。多忙化につながる面もあるが、互いにフォローしながら無理のないよう取り組んでいってほしい。

○ 信頼される学校

- ・地域の方に温かく見守っていただける環境であり、安心して子供を預けることのできる学校だと考えられる。生徒・保護者アンケートの結果から、学校生活に対する満足感が高く、学校と生徒・保護者の関係について良好であることが分かる。感染症拡大防止についてもよく取り組み、生徒の心身の安全について留意した指導が行われていると考えられる。
- ・教職員がそれぞれ自覚をもって職務に従事しているなど、「信頼される学校」の領域での得点が高く、素晴らしい結果と考えられる。
- ・来年度からスタートする、小中一貫教育において、義務教育9年間を見通し、進級時のギャップをできるだけ軽減し、子どもたちがそれぞれの個性を生かした力が発揮できる環境としてほしい。今後も地域・保護者と密接に協力しながら、子どもを伸ばす教育のための研究を推進してほしい。

3 特記事項

なし

記載責任者	教頭	浅利 進
白根巨摩中学校 学校関係者評価委員	委員長	長澤 光
	副委員長	柳本 伸